

シンガポール修学旅行報告会が ありました！！

2月5日（水）12:45 から遺愛学院講堂で『2019年度遺愛女子中学校2年生 シンガポール修学旅行報告会』がありました。1月9日～14日の旅程で、天気にも恵まれ、とても充実した研修をしてきたようです。

昨年度からホームステイをやめて、シンガポール出身で去年3月まで遺愛の宣教師兼英会話教師をして下さったウー先生のシンガポールでの母教会の中学生との交流を始めました。昨年は日曜日に教会の中で1日だけの交流でしたが、今回は1日目の土曜日に教会の信者のご家庭での交流、2日目に教会での交流と2日間交流にしました。生徒の皆さんの充実度は非常に高く、一番の思い出になっているようです。もちろん交流は英語で、今まで培った英語力をフルに使って、頑張りました。決して流ちょうな英語ではありませんし、たくさん間違っただと思いますが、それを意に介せず、心を開いてコミュニケーションをとろうとすることが大事だと実感していたようです。

2月11日に亡くなられましたが、元ヤクルト・阪神・楽天の監督をされていた野村克也氏がとてもステキな言葉を残しています。「失敗には必ず理由がある。それに向き合うことが大切だ。『失敗と書いて、成長と読ませたい』」とおっしゃていましたが、語学習得においてもその通りです。

報告会では、引率代表の井上記一教頭先生がご挨拶した後、10グループに分かれて、シンガポールの宗教、お土産、産業、衣服、教育、建物、ルール、食べ物、生活習慣、歴史について報告がありました。パワーポイントを用いて、とてもわかりやすいプレゼンでした。中1の皆さんにとっては来年へのイメージづくり、中3の皆さんは1年前の思い出にしたっていたようです。保護者の方もたくさんいらして下さり、熱心にプレゼンを聴いていらっしゃいました。

2020年2月17日（月）



教頭先生ご挨拶



プレゼンの様子



聴く生徒の皆さんの様子